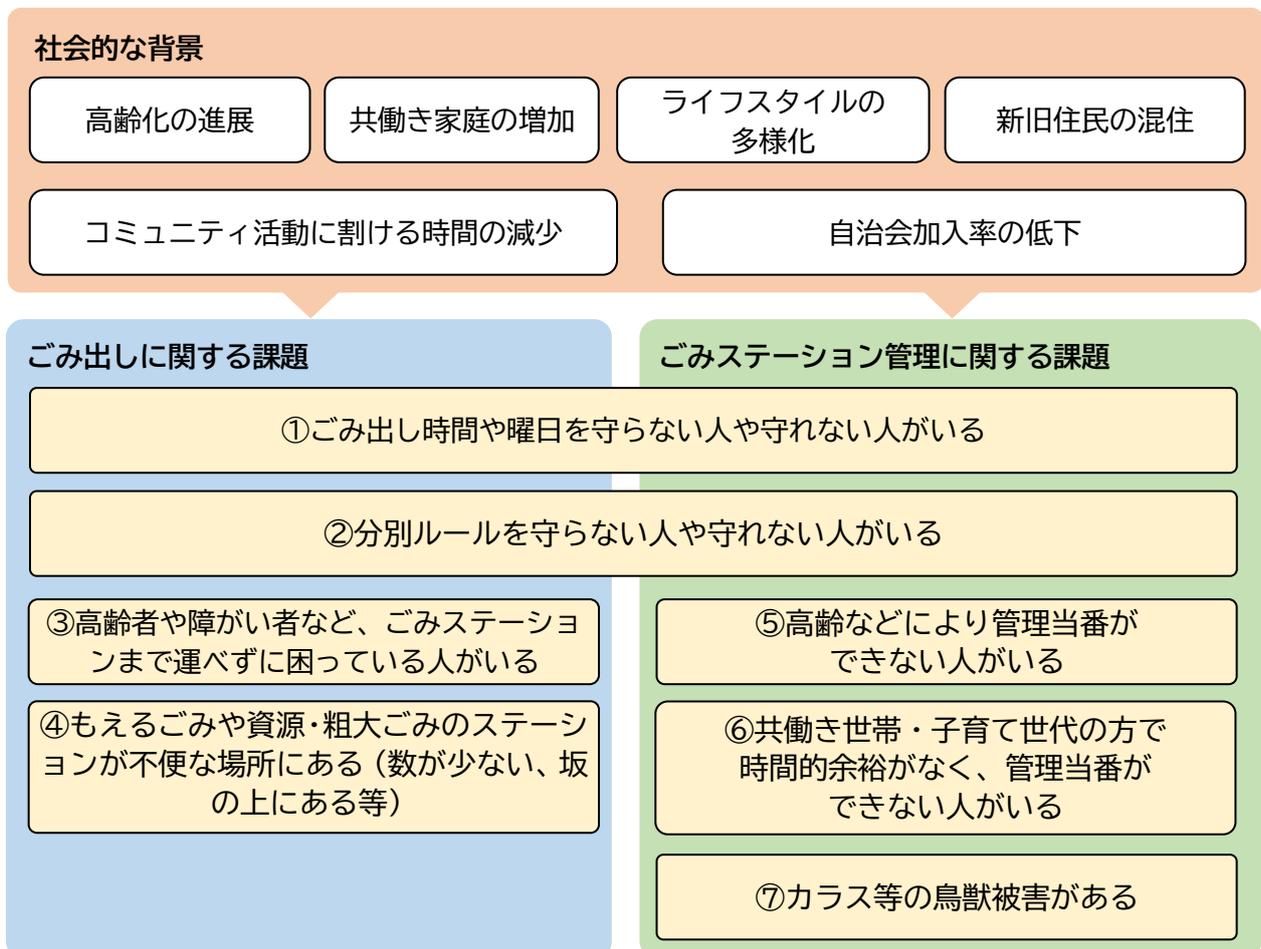


ごみ出し・収集に係る地域の課題に対する市の考え方について

1 河内長野市のごみ収集等に係る現状と課題について

- 高齢化の進展や、共働き家庭の増加等により、コミュニティ活動に割ける時間の減少を招き、また新旧住民の混住により、新住民から自治会活動のうち古くからの活動への理解が得られず、自治会そのものに参加しない世帯も増えています。
- このような社会的背景を要因に、ごみ出しやごみステーション管理に関する課題が顕在化しています。

ごみ収集等に係る現状と課題



2 ごみ出し・ごみ収集に係る地域の課題に対する市の考え方について

(1) これまでの検討・審議で判明したこと

- 当初、市ではごみ出しやごみステーション管理の課題への対応として、戸別収集の導入を検討しました。
- その中で、市全体で戸別収集を導入する場合、財政面で数億円は追加的な負担が発生することがわかりました。また、集合住宅に住む世帯や狭隘道路に面した世帯はそもそも戸別収集が難しいため、実際に戸別収集が可能な世帯は市内全体で6割程度に限られることがわかりました。
- 財政的負担に対し、受益者もそう多くないことから、費用対効果を考慮すると、全市での戸別収集の実施は現時点では難しい状況です。
- そのため、次に、ごみ出し等で課題を抱える地域が戸別収集を希望する場合、地域ごとに戸別収集を導入することができないかを検討しました。
- ところで、このような希望制の戸別収集を実施する場合、受益者が一部の市民に限られるため、追加的にかかる費用は、受益者が負担することが望ましいと考えられます。
- そこで、市内の自治会に対し、「追加的な負担があっても戸別収集の導入を検討したい」かどうかについて、アンケート調査を行ったところ、そのような自治会は全体の約8%と多くない状況でした。
- また、新たに費用負担を求めるため、これらの地域で実際に戸別収集を導入するかどうかを決定するには、自治会未加入の住民を含めた意見の集約が必要となります。ところが、自治会へのアンケートでは、「自治会未加入世帯を含めた意見集約は難しい」とする自治会も多く、希望制の戸別収集の導入は課題があることが見えてきました。(なお、「戸別収集の必要がない」とする自治会は約30%でした。)
- この自治会へのアンケートでは、既に一部の地域では住民同士が助け合う取組がはじまっていること、また多くの地域では自主的に課題解決の取組を進めていることや、取組の参考となる他の地域での取組紹介などの情報提供を求める声が多いことがわかりました。
- さらに、前回までの審議会での議論を振り返りますと、地域コミュニティの重要性や、自治会未加入世帯が増加していることへの対応の必要性が増してきているご意見などもいただいたところです。
- このように、現時点では全市での戸別収集の導入は難しく、希望制の戸別収集についても地域でその可否を判断することが難しく課題が多いこと、それよりも地域の取組を支援・強化するための施策が求められている状況が見えてきました。

(2) これまでの検討や審議を踏まえたうえでの市の考え

- これまでの検討や審議を踏まえ、現時点では全市での戸別収集の導入の優先順位は低いと判断します。
- そのうえで、市民のごみ出しやステーション管理を含めたごみ収集の課題に対応していくために、まずは既に取り組を始めている自治会の取組を強化・支援する施策、またどのように取り組めばよいかわからない自治会に対して情報提供を行い、取組のスタートアップを支援するような「地域の取組を強化・支援するアプローチ」を主体とした施策に優先的に取り組みます。具体的には、次のような施策が候補として挙げられます。

<地域の取組を強化・支援するアプローチ 施策候補>

- ・ごみステーション・ごみ出し支援管理事例集の作成
- ・ごみ出し支援団体の紹介
- ・カラスネット導入等のごみステーション整備への補助 等

- また、ごみ出し・ごみ収集は、市民生活にとってなくてはならないものであることから、既に適切にごみ出しが困難となっている個々の世帯への対応を、行政が責任をもって行う必要があります。このことから、「現行のごみ出し・ごみ収集制度を改善・拡充するアプローチ」の施策展開にも取り組みます。具体的には、高齢等によりごみ出しが難しい方への対応と、自治会未加入者等への対応が必要になると考えており、次のような施策が候補として挙げられます。

<現行のごみ出し・ごみ収集制度を改善・拡充するアプローチ 施策候補>

(高齢等によりごみ出しが難しい方への対応)

- ・ごみステーションの分割・増設
- ・ふれあい収集の要件緩和等利用しやすさの向上

(自治会未加入者等への対応)

- ・市が管理する公設ごみステーションの設置
- ・利用しやすい小口の臨時収集

- 施策については、今回（第3回審議会）の議論を踏まえて、市として具体的な施策内容を検討してまいります。
- 審議会で意見があったコミュニティのあり方を含めたごみ出しやごみ収集に係る行政との役割分担については、重要な議論であると認識していますが、庁内関係部局との調整も必要となります。今後、中長期的に取り組む必要があることから、まずは、廃棄物の分野で実施可能な施策から進めていきます。